



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 314
May
2019

トピックス

メンバー国との防災協力推進

大韓民国 国会法制室との
意見交換

ADRCスタッフ紹介

小堀一幸 管理部長

●メンバー国との防災協力推進

大韓民国 国会法制室との意見交換

アジア防災センターでは、4月24日に神戸のアジア防災センターの会議室において大韓民国国会法制室のKim, Su-og法制専門官、Lee, Seong Im法制専門官、Noh, Youjung法制専門官、Kim Yena法制専門官、広島市立大学広島平和研究所孫賢鎮准教授とともに日本と韓国の防災法制について意見交換を行いました。

冒頭、アジア防災センター所長鈴木よりアジア防災センターと韓国との最近の協力の状況について、韓国世宗研究所主催のNAPCIや三国協力事務局による防災協力との事例を紹介しながら説明しました。引き続き、鈴木から災害対策基本法を中心に、戦後の日本の防災法制の流れについて説明しました。特に、2011年の東日本大震災以降の法律改正や新規立法について、その背景を含めて説明をしました。

韓国では、2016年の慶州地震の後、国民の災害特に地震に対する認識が急速に高まりました。そしてそれを受けて様々な取り組みがなされています。直後には韓国の国会議員の方々が日本を訪問されたこともありました。

衆議院、参議院の二院制をとる日本に対して、韓国では一院制となっています。その韓国国会において日本でいうところの議員立法の形式で新しい防災に関する法律の提案が予定されているということでした。



Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
<http://www.adrc.asia>

© ADRC 2019

続き

●ADRCスタッフ紹介

小堀一幸 管理部長

2019年4月1日付で兵庫県から派遣されました小堀一幸と申します。前職場の兵庫県国際交流課では、業務の一つとして、日本人県民と外国人県民が相互に理解し、共に支えあう多文化共生社会の推進を担当しました。

アジア防災センター（ADRC）は、外国の方と接する機会が多いので、前職場での経験を最大限に活かし、「兵庫県に来て良かった。ADRCに来て良かった。」と言っていただけるように尽力したいと思っております。

実を申しますと、ADRCがあるHAT神戸での勤務は、今回で2回目となります。一回目は、平成24年4月から2年間、JICA関西で外国から来られる方の受入研修を担当し、ADRCの方々に大変お世話になりました。当時お世話になった方が今も残られており、今回ご一緒にお仕事をできることをとても嬉しく思うとともに、何か強い「縁」のようなものを感じております。

ADRCは小さな組織ですが、近年、世界中で多発している災害状況を見ると、ADRCの果たすべき役割はより一層重要になってきています。そのような中、今回ADRCで勤務できる機会を得られたことを嬉しく思うとともに、自らの職責を果たしながらADRCに貢献することはもとより、自己研鑽の場として、様々なことを学びたいと思っております。

不慣れで、皆様に多々ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしく願い申し上げます。



問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。